

交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科：国際学部・グローバル専攻

※留学を希望している近畿大学学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか。

同意する 同意しない

留学先国名：オランダ

留学先都市：ロッテルダム

留学先大学：ロッテルダム応用科学大学

留学先所属学部：国際関係

留学期間：2021年8月～2022年7月

学年（出発時）：3年

帰国報告書提出日：2022年7月25日

1. 留学先大学について

（1）留学先大学の特長

専門的なレクチャーに加え、少人数に分かれてのグループプロジェクトや、プレゼンなどによって国際社会において必要なスキルの向上に特化している。

（2）留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

オランダ語のプログラムがフリーで受けられる。

勉強面でのサポート

講義や授業形態に関するフィードバックを定期的に学校側から求められ、少しでも生徒が困っていたら前向きに対応してくれる。

精神面でのサポート

生徒と大学スタッフの距離が近く、授業後にクラスメイトと一緒に食事をするなど、非常に親近感が湧き精神的に余裕ができる。

生活・住居面でのサポート

大学側がサポートして作られた留学生を援助する学生団体があり、わからないことがあったらすぐにそこに所属する先輩たちに質問することができる。

2. 生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

大学の推薦するSSHの寮はとても良いが、人気なため募集開始と同時に申請すべき。

(2) パソコンについて

PC の保有状況 : 日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった

Wi-Fi の有無 : 有 無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

基本的に学校やカフェのWi-Fiをつかっていた。

大学での PC の使用可否 : 使用できた 使用できなかった

大学で PC を使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

学生証があれば誰でも学校のパソコンが使用でき、とても便利である。

(3) 医療について

Health center (大学内施設として) の有無 : 有 無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

日本より乾燥しているため、保湿を忘れないこと。

(4) 銀行口座について

留学先で口座を開設しましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

現地の銀行に直接いき、大学側に必要書類のPDFを送ってもらい、印刷して持っていく。

(5) 異文化体験について

留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

日本よりもんびりした環境

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

行っていない。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

とても国際色豊かなため、固定概念にとらわれずオープンなマインドを保つ。

3. 後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

学校のウェブサイト。学生団体ESN。

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

お箸、水筒

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

語学力：留学前－資格試験名称 IELTS	6.0	点(級)
留学後－資格試験名称 IELTS	7.0	点(級)

オランダ留学はアメリカとは違うほんとの意味で国際色豊かであり、ヨーロッパ各地から生徒が集まり第二言語としてだが、高いレベルでの英語力を目の当たりにし、その上で必要な社会的スキルを得た。

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

パソコンが壊れて、治さなければいけなかった。

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

クラスは比較的少人数であり、お互いのことをよく知ることができる。成績評価は厳しめだが、課題量はそこまで多くない。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

していない。

4. 費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

(1) 留学時のレート：140円

(2) 航空運賃：14万円

(3) 住居費（月額）：8万円 × 留学期間月数 10 カ月 = 80万円

(4) 食費（月額）：3万円 × 留学期間月数 10 カ月 = 30万円

(5) 保険料：5万円

(6) その他：10万円

(7) 留学費用の合計：150万円

5. その他 自由に記入してください。

二度目の留学で得たものは、『第二言語としての英語』である。ヨーロッパの生徒英語が喋ることは当たり前であり、複数の言語は喋れて当然の世界であることを実感した。それと同時に、オランダだけでなく様々な国の文化や特徴を知り本当の意味での『多様性』を体験できた。アメリカのもつ多様性とは異なることにも気付き、個人的にはヨーロッパの共存協力の姿勢は学ぶべき部分がとても多い。さらに、日本がどれだけ周りの国から愛されているかにも気付かされ、幼い頃から私の中にあった『アメリカはすごいんだ、日本はまだだ』という固定概念がなくなり、より大きな価値観を得た。そして、自分の進路として、日本と他の国を繋げる仕事を見つけた。

6. 留学先大学のキャンパス等、思い出に残る写真をぜひ添付して送信してください。